



6年生ありがとうの会

3月15日(火)にオンラインで6年生ありがとうの会を開催しました。新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、延期になったり、会の開催方法の考え直しを迫られたりして、5年生は本当に大変だったと思いますが、よく頑張ってくれました。5年生頼もしいですよ！

さて、ありがとうの会の中で、6年生は下級生に向けてメッセージを贈りました。紹介します。

- 1年生 コロナ禍での学校生活。感染予防をしながら過ごすのは大変だったと思います。でも笑顔で友だちや班のみんなと楽しく遊んでいて安心しました。
- 2年生 あいさつするときは、気持ちよく会釈をしてくれました。場所や場面に適した声の大きさであいさつをすることができていて、すてきな姿です。
- 3年生 朝、「あいさつ」まわりに行ったとき、「おはようございます」と元気に返してくれました。そのおかげで、今日も一日がんばろうと思えました。なかよし班では、みんなと楽しく遊んで、なかよしの輪を広げていました。
- 4年生 去年から栽培委員会になり、たくさんの花のお世話をしてくれました。また、フラワーフェスティバルで、活動内容や花を育てるための大切なことをクイズで出してくれたおかげで、花のことがよくわかりました。またクラブ活動が始まって、みんなで仲良く楽しく活動することができました。
- 5年生 様々な活動で6年生や他学年を笑顔で支えてくれました。なかよし班やウォークラリー、運動会、委員会、クラブ等で、私たちが困っていたら、すぐに案を出して助けてくれました。

また、6年生が「引き継いで欲しい」と願って、下級生に贈った4つの宝を紹介します。

あいさつの宝、なかよしの宝、呼びすてゼロの宝、元気の宝

あいさつの宝 コロナウイルスでできるあいさつ回りやあいさつタッチが制限されてきました。その中でできることは何かを考え、すれ違った人に笑顔であいさつするということを心がけてきました。これからも笑顔であいさつすることを引き継いで下さい。



なかよしの宝 今年度は、コロナでなかよし班遊びが少なく、他学年との遊びも制限されていたけれど、ウッキウウウォークラリーやスマイル2021では、ふわふわ言葉を増やしなかよしの輪を広げたいと願い、頑張りました。これからも全校のみんながいじめもなく、仲良くすることを引き継いで下さい。

呼びすてゼロの宝 方県小のみんなが傷つき、悲しい思いをしないために、呼びすてゼロに気がつけてきました。呼びすてをしないことは、方県小のみんなを大切にすることのあらわれです。これからも、方県小のみんなを傷つけたり、悲しませたりしないために、呼びすてゼロを引き継いでください。

元気の宝 昼休みや中休み、外で元気に遊んだり、コロナ禍で制限されても学級で工夫して遊んだりすることができました。全校のみんなも私たちと同じように工夫して元気に活動することができていました。これからも元気に遊び、生活することを引き継いでください。

4つの宝を1～5年生の子どもたちが引き継いでいきます。1～5年生の子どもたちならば、受け継いだ宝の質をさらに向上させていってくれることでしょうか。楽しみです。

6年生が下級生に渡した宝は、6年生自身の宝であり、中学校生活を充実させていくための大きな武器にもなります。小学校への郷愁と手を切り、新しい生活に立ち向かっていくために、方県小で身に付けた宝・武器を存分に生かして大きく飛躍してくれることを祈っています。